

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



AG PRESS

大学だより

2023

6

新年度挨拶 / シューカツの現場から「どうなる?アフターコロナの就職活動」
AG NEWS FILE / 健康科学部スタート!

vol.224

大学のつくり方

アイガク部署研究

<社会連携センター編>

location: 第1グラウンド・陸上競技場(日進キャンパス)



今ここを生かし、
実り豊かな明日を
迎えよう。

学校法人愛知学院 理事長

小島 泰道

知識の習得だけでなく、多くの実践を通して、感謝や慈しみの心を持つ社会人になってください。

愛知学院大学新入生の皆さんのご入学を衷心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから3年経ちましたが、5月8日より季節性インフルエンザ等と同じ「5類」に移行し、ようやくコロナ禍以前の生活に戻る兆しが見えてきました。しかし、昨年はロシアがウクライナへ侵攻し、いまだに戦争状態が続くなど、未来を予測するのも難しい時代になりました。

大学を取り巻く状況も目まぐるしく変化しています。平生から「諸行無常」を頭では理解していても、予測不可能なことが起こるたび、無常であるからこそ、今ここを生かし、明日を迎えなければならない、ということを変

めて感ずるものであります。

学生の皆さんには、これからの大学生活を思う存分満喫していただきたいと思ひます。しっかりと自分の歩むべき道を見つけ出し、人生の礎となる充実した時間を過ごしてください。私どもは、そのための環境を教職員一丸となつて精一杯整えます。

本学の教育理念は、創立以来貫して「行学一体・報恩感謝」の精神です。単に知識を得るだけでなく、数々の実践を通して、社会人として感謝や慈しみの心を持つ人間となるよう、大いに期待しております。

我が愛知学院大学が光輝き、今後多くの有為な卒業生を輩出し、学生や教職員さらには保護者の皆様が胸に誇りを抱ける学院となるよう、共に力を合わせてまいります。

皆さんの大学生活が希望と夢に満ち、実り豊かなものとなることを心から願つて。



令和5年度の愛知学院大学後援会会長を務めさせていただきます、竹内宗と申します。約11000名の学生支援を保護者の観点で執りおこなう重責に、身の引き締まる思いです。

本学後援会では、学生一人ひとりの大学生活が実り多きものになるよう、教育環境充実のための各種助成をおこなっております。

また、日頃は大学に足を運ぶ機会の少ない保護者の皆様に学生生活を知っていただく機会として、全国各地で保護者相談会を開催しております。今年も9月から10月頃の開催を予定しておりますので、ご参加くださいますようお願い申し上げます。日頃から気にかけておられるご子女の大学生生活等について理解を深め、教職員と、また保護者同志で話し合う場として活用いただければ幸いです。

今年度は、これまでコロナ禍で実現できなかったさまざまな後援会活動を、少しずつ着実に取り戻してま

実り多き学生生活のため
さまざまな活動を通して
学生と保護者の皆様を
サポートします。

愛知学院大学後援会 会長

竹内 宗

いりたいと考えております。愛知学院大学の伝統ある活動の益々の発展に全力を尽くす所存でありますので、何卒ご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和5年度 大学後援会本部役員（敬称略）

会長	竹内 宗
副会長	福田 剛年
〃	柴田 敬介
〃	浅田 浩司
支部活動部長	両角 一彦
総務部長	品田 浩之
厚生部長	柴田 軒吾
施設部長	出口 知矢
教育部長	太田 誠一
課外活動部長	山口 英寿
会計	三輪 彦詞
〃	佐藤 由宜
会計監査	村手 誠
〃	久野 祥毅
〃	中村 康成
参与	伊藤 貴志



言 | 頭 | 卷

新年度挨拶



真理の探究が未来につながる

愛知学院大学 学長

愛知学院大学短期大学部 学長

引田 弘道

常に疑問と探究心を持ち、
仲間と議論しながら
共に成長していったほしい。

令和5年度、日進キャンパスに健康科学部が誕生しました。私たちの身体の動きと栄養に着目した学部で、健康科学科と健康栄養学科の2学科で構成されています。高齢化社会において人々が生活の質を維持するためには、適度な運動と栄養が不可欠です。健康科学部では、アスリート養成から身体機能の回復にいたるまで幅広い運動と栄養の教育をおこない、人生100年時代にこれからの健康を創る人材育成を目指します。こうして本学は、日進キャンパス・名城公園キャンパス・楠元キャンパスの3キャンパスに10学部、16学科、大学院9研究科、

さらに短期大学部を合わせて総数11000名を超える学生が学ぶ総合大学へと発展してきました。

愛知学院の淵源をたどれば、明治9年（1876年）開設の曹洞宗専門学支校に始まります。大学は昭和28年（1953年）に設立、最初に商学部商学科が設置されました。建学の精神は禅の精神に基づいた「行学一体・報恩感謝」です。「行学一体」とは、知の実践による人格形成に努めることであり、「報恩感謝」とは、自己を取り巻くすべてに感謝し、その恩に報いる心を持つこと。仏教の精神に基づいた総合的な人間教育こそ本学の教育の根幹です。

皆さんには、3年間、4年間、あるいは6年間の大学生活で探究心を醸成していただきたいと願っています。社会には、これが正解というものはありません。「なぜ？」という疑問を持ち、表面には見えない奥底に潜む真理を探究していくことが教育・研究の第一歩であり、今後の皆さんの社会活動に大きく寄与すると言えるでしょう。本学は知識を伝えるだけの教育ではなく、皆さんが探究心を持ち、その解明に向けて互いに議論しあう授業を目指してあります。積極的な意見交換を主とするアクティブラーニング型の授業です。またインターンシップなどにも積極的に参加していただき、実社会が抱えるさまざまな問題点を探っていく能力を養うことも大切です。そのためには、私たちは常に探究心を持ち、論理的に解明し、自身が導いた結論を表現する能力を身につけなければなりません。ともすれば見過ごしがちな社会現象に目を向け、一緒になって探究する習慣を身につけていただきたいと思います。

シューカツの現場から

VOL.27

MESSAGE FROM CAREER CENTER

今回のお題 どうなる？ アフターコロナの就職活動

新型コロナウイルス感染症は、企業の採用人数の抑制、説明会や面接のオンライン化が進むなど就職活動にも大きな影響を与えました。そして世の中はアフターコロナへ。当然、採用に向けた企業の動き方も変わってきます。学生も保護者も就活を取り巻く状況を的確に見極め柔軟に対応することが、スムーズな就活への第一歩です。

最新状況を把握し、就職活動をアップデートしよう！

社会が落ち着きを取り戻し、企業が積極採用をおこなって、大卒求人倍率もコロナ以前の水準に戻りつつあります。就活状況は良い方向に転じ、今後も売り手市場の傾向は続きそうです。しかし採用の早期化やミスマッチによる早期退職への懸念など今こそ注意が必要な点もあります。アフターコロナ就活のポイントを押さえ、キャリアセンターを活用しながら効果的な対策につなげましょう。

アフターコロナの就活POINT

大卒求人倍率の回復

23年度の大卒求人倍率は前年より0.13上昇して1.71倍。企業の採用意欲が高く売り手市場ですが、内定が得やすい一方、ミスマッチで後悔しないために情報収集や自己分析も必要です。

スケジュールの早期化

22年度の内々定・内定出しの開始時期が3月～6月になるなど採用の動きは早期化傾向にあります。早い時期から行動し、情報を集め、余裕を持って対策することがより重要になります。

インターンシップの活用

22年度では7割以上の企業が対面やWEBでインターンシップを実施。また新ルールでは企業が取得した個人情報を採用活動に使用できるため、十分な準備をして臨みましょう。

WEBと対面の併用

コロナ禍で加速した就活のオンライン化。しかし東海地方では現場感が伝わる対面形式が根強い傾向にあり、WEBとの併用になりそうです。それぞれの特性を理解し対策しましょう。

愛知学院大学は 高い就職率を実現！

2023年3月卒業生 就職実績(文系学部)

希望者就職率 **98.2%** (1.6pJ)
※

$$\left(\text{希望者就職率} = \frac{\text{正社員(公務員)就職者数}}{\text{就職希望者数}} \right)$$

実就職率 **91.8%** (2.3pJ)

$$\left(\text{実就職率} = \frac{\text{正社員(公務員)就職者数}}{\text{卒業者数(進学除く)}} \right)$$

公務員試験合格者数 **232名** (27名J)
 行政 **46名** (12名J)
 警察 **72名** (22名J)
 教員 **21名** (11名J)

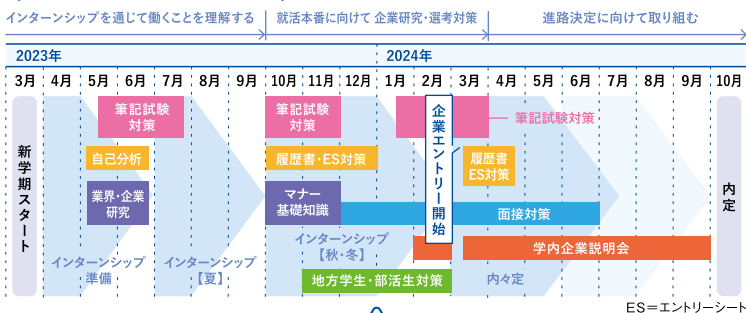
※昨年比

主な就職先はこちらから
ご覧いただけます



／ アフターコロナの就職活動をしっかりサポート！ ／

＜一般的な就活スケジュール(3年生)＞



筆記試験対策

- SPI3試験 (エクステンションセンター／有料)
- WEBテスト受験会
- 論文対策 など

マナー・基礎知識

- 業界・企業研究
- 就活マナー・身だしなみ
- 内定学生体験談 など

面接対策

- WEB面接
- グループディスカッション
- 集団面接
- 個人面接 など

学内企業説明会

- 業界企業研究セミナー
- 学内合同企業セミナー
- 単独企業説明会 など

履歴書・ES対策

- 自己分析・自己PR
- 志望動機書き方 など

地方学生・部活生対策

- アスリート向け就職対策
- UIターン就職対策 など

キャリアセンター支援行事

▶ 学内企業説明会

企業・団体の説明会を学内で開催。愛知学院生を積極採用する企業と出会う貴重な機会です。期間中は約250社が来校しており、毎年数多くの採用内定に結びついています。



▶ 面接対策講座

キャリアセンター担当者による志望業界・企業の傾向に合わせた模擬面接は、対面とWEBどちらにも対応しています。話の組み立て方や自己アピール方法などトレーニングを通じ実践的に学びます。



▶ 自己分析・自己PR講座

自分の特長や価値観を再認識し自信をもって就職活動に臨むことができるよう専門の講師が基礎からレクチャーしていきます。ワーク形式で自己分析に取り組み自己PR文章を作成します。



AGUキャリアナビ に登録しよう！

就職に関する最新情報や求人情報などを受け取ることができる本学学生限定の就職情報サイトです。まずは登録してください。

『AGUキャリアナビの機能』

- 1 企業からの求人検索
- 2 キャリアセンター主催イベント・個別相談の予約(3年生以上が対象)
- 3 スケジュール管理

- 4 先輩の就職活動報告書の閲覧
- 5 就活情報を随時メール配信

アドレス登録で最新情報を入手！



愛知学院大学が力を入れているシャチ活を大学と社会の架け橋となり支える部署。学生が社会課題に向き合い実践的に学べる環境を整えるほか、地域や企業・NPOとの窓口、シャチ活を発信し大学のブランド力向上に努めるなどさまざまな業務を担っています。

大学の つくり方

アイガク部署研究

あまり知られていない大学のバックヤード。
見えないところで学生支援に奮闘する
各部署の役割と職員の仕事をひもときます。



シャチ活とは

社会活動の「シャ」、地域連携そして知の「チ」を合わせた本学独自の「シャチ活」の愛称で展開する社会・地域とつながる活動。
学生の社会活動、地域貢献、社会人教育などの大学が新たに求められている役割をシャチ活に集約し、数多くのプロジェクトを展開しています。

こちら
CHECK!



WEB



Facebook



Instagram



PICK UP WORKS

シャチ活の一部をご紹介します。

VOICE

学生のうちに社会課題に触れ実践的に学ぶことが重視されており、また学外から大学への期待も高まっています。学生の成長を第一に考えながら、社会や地域とWin-Winな関係を構築し活動を継続していきます。

研究推進・社会連携課 Kさん

学生に 向けて

学生が地域コミュニティや企業・NPO等と連携して社会活動をおこなう機会を提供し、社会や地域の方々と課題に向け協働する貴重な体験をバックアップします。フィールドワークやプロジェクト、ボランティア等の社会連携コースは、学部・学科、学年を問わず履修でき、活動成果は報告・振り返りをふまえて単位認定されます。

VOICE

シャチ活を通して多様な視野と主体性を持てるように活動内容を考えています。また、多くの出会いからさまざまな考え方、価値観を持つ人たちと互いを尊重し理解していく、そうした経験を積めるように支援します。



社会連携センター F助教

フィールドワーク

行政職員やNPO職員など、社会地域の問題に取り組むさまざまな実務家を講師に招いた講義をはじめ、実際に現地に赴く体験など、フィールドワークからは地域の課題を知ることができます。

《ファームステイで地域おこし》

北海道・厚沢部町の農家に滞在し、地域の課題解決に取り組みます。これまでの活動では道の駅に人を呼び込む提案、農作物販売のECサイトの設定と出荷の手伝いなどを学生自身で考え実践しています。



プロジェクト

自治体や企業などと連携しながら地域の問題を認識し、課題を抽出。グループで課題に向き合い、課題解決の提案ができるスキルを実践的に身につけます。

《名古屋城三の丸地区でまちづくり》

企業や行政の担当者から街の歴史や現状を学ぶ講義や、官公庁が集まる現地を歩いた調査から課題を抽出。名古屋城と栄エリアをつなぐ三の丸地区に新たなにぎわいを生み出す提案づくりに取り組んでいます。



ボランティア

地域と連携したボランティア活動への参加に加え、社会貢献に関する事前学修、活動後の振り返りも実施し、社会で求められる思考力や行動力、協調性を身につけます。

《地域のボランティア活動》

街頭に立ちドライバーに呼びかける交通安全活動や、区役所を訪れる人に振り込め詐欺の注意を喚起する啓発活動に参加。さまざまなボランティアに取り組み、地域の多様な人と関わりながら学んでいます。



地域・社会人 に向けて

VOICE

地域の皆様に向け企画・実施する各種講座では内容はもちろん、大学キャンパスならではのアカデミックな雰囲気を感じていただくことも大切にしています。意欲のある方が多くやりがいを感じます。

研究推進・
社会連携課 Nさん



地域の「知の拠点」として、学内外の人的資源や組織を結ぶコンシェルジュの役割を果たしながら社会貢献に努めています。幅広い方に学んでいただけるよう多様なテーマを設けた講座、専門家に向けた講座など、厳選した内容でお届けします。

● 公開講座・オープンカレッジ・ モーニングセミナー

地域の皆様に向けて多彩なテーマで各種講座を開催するなど、大学の知をもって社会人教育や生涯学習の支援をおこない、向学心に富む方々を応援しています。

● 中学校向けキャンパス体験 教育プログラム

最新の低炭素キャンパスで設備を見学し、SDGsの課題を本学の教員や学生と一緒に考えながら、大学生になった気分を体験することができます。

● 履修証明プログラム

修了者に履修証明書が交付される特別課程。税理士を多く輩出してきた大学として税理士限定のプログラムを開講しています。

企業・官公庁 に向けて

多様な研究者を擁する総合大学として、地域社会に貢献するために産学官連携に力を入れています。社会連携センターが自治体・企業・NPO等と大学をつなぐ中核として、マッチングをサポート。特に大学所在地の日進市、また昨年度から名古屋市と連携協定を締結し、案件に応じてリソースを提供しています。

TOPICS

06

令和5年4月29日付で発表された春の叙勲において、本学の田中貴信名誉教授（元歯学部有床義歯学講座教授）が瑞宝中綬章（教育研究功労）を受章されました。田中名誉教授は歯学部長、歯学研究科長、歯学部附属病院院長を歴任。本学の歯学教育に尽力されました。永年にわたる教育・研究の功績に敬意を表します。

田中貴信名誉教授が 春の叙勲において瑞宝中綬章を受章

TOPICS

05



マーケティングを学ぶ学生による企画「コンテスト」[Sカレ(Student Innovation College)]では、大学3年生がゼミ対抗で、企業から提示されたテーマの商品企画に取り組み、発売を目指します。昨年度は民間企業8社が参画し、31大学36ゼミ168チーム531人の3年生が参加。生活便利雑貨を手がけるスマイルキッズ株式会社が掲げたテーマ「暮らしに役立つ便利商品」に対して、本学経営学部油井ゼミのチームが傘を自立させる装置のアイデアを提案してテーマ1位、全体で準優勝に輝き、商品化が実現しました。

「KASATSU」は、傘の先端を差し込むだけですぐに使える傘スタンド。外出先で傘の置き場に困らない上、雨水がしたり落ちない工夫もされています。5月22日に意匠登録出願を完了（意願2023-10360）、26日からは楽天市場やYahoo!ショッピングで販売が始まりました。学生たちが生み出した画期的な商品が、社会に新たな価値を提示していきます。

学生と企業が新商品を共同開発 傘を自立させる便利グッズ 「KASATSU」が販売開始

REPORT 後援会レポート

① 2023年度大学後援会総会を開催

5月14日(日)、大学後援会総会を名城公園キャンパスで開催。2022年度事業報告・決算報告に続き、2023年度新役員人事、事業計画案・予算案などが審議され、承認されました。また、161名の保護者にご出席いただいた学部別懇談会では、各学部の学部長が学びの特色や教育について説明し、参加者と懇談しました。9月～10月頃には本学会場と全国11会場にて保護者相談会を予定しています。ぜひ、ご参加ください。



② 「春の100円モーニング」の実施

2018年度から始まった100円モーニングは、学生の食習慣改善や授業への集中を目的としています。今年度は日進・名城公園キャンパスにて5月8日(月)から5月26日(金)まで実施。アンケートにより利用者の意見を取り入れ、前回よりもグレードアップした内容で、各キャンパス合わせて1,835食提供しました。学生たちが健康で素敵な1日を送れるよう、後援会は引き続き支援していきます。※楠元キャンパスでは秋に実施予定



③ 愛知学院大学後援会 奨励金支給について

研究・スポーツ・文化芸術活動、ボランティア活動等において優秀な活動をおこなった学生・教職員の団体・個人に支給される愛知学院大学後援会奨励金。2022年度は次の団体に贈られました。

団体名：経営学部 油井ゼミ

活動内容：「ビジネスプランコンテスト」で審査員特別賞を受賞

経営学部油井ゼミの3名(杉浦さん、坂さん、安達さん)が、東海地区の大学生・大学院生を対象としたビジネスプランコンテスト「Tongaliビジネスプランコンテスト(2022年6月開催)」にて審査員特別賞を受賞。2月17日(金)の後援会本部役員会でプレゼンテーションをおこない、3月14日(火)に奨励金30万円が支給されました。この奨励金は、起業の資本金として活用されます。



写真左から 杉浦さん、中村後援会長、坂さん

TOPICS

02



(c)共同通信社/アマナイメージズ

「2023 WORLD BASEBALL CLASSIC」 侍JAPANが優勝！本学卒業生の源田壮亮選手が世界一に！

3月22日(水)、「2023 WORLD BASEBALL CLASSIC」の決勝戦で日本代表がアメリカ代表を3対2で破り、2009年の第2回大会以来14年ぶりに優勝を果たしました。日本代表メンバーのひとり、源田壮亮選手は本学卒業生です(2015年総合政策学部総合政策学科卒業、埼玉西武ライオンズ所属)。今大会では、韓国戦で右手小指を骨折するも準々決勝のイタリア戦で2試合ぶりに出場。準決勝のメキシコ戦では、ネット上で「源田の1ミリ」と称されるタッチプレーや華麗な守備により日本代表を逆転勝利につなげる活躍で貢献。決勝戦でも8番遊撃手としてフル出場しました。日本代表、源田選手、おめでと〜ございます！

TOPICS

01



令和5年度入学式を挙行了しました

4月1日(土)、桜満開の中、令和5年度入学式を日進キャンパス100周年記念講堂にて挙行了しました。この日、本学で新たな歩を踏み出した新入生は、2500人以上です。式典後には、新入生歓迎セレモニーを開催。よさこいサークル「常笑」、チアリーダー部、競技ダンス部、書道部による演舞がおこなわれ、入学を祝いました。新入生ならびにご家族の皆様には、ご入学を心よりお慶び申し上げます。今年度は、参列について新入生とその保護者(学生1名につき保護者1名)に限定し、参列できない保護者・ご家族・ご友人等の皆様や在学生に向けて、式典の模様をインターネットの映像配信サイト「YouTubeライブ」でライブ中継しました。

TOPICS

04



日進市長より 「観光SDGs修了認定書」が授与されました

昨年度、文学部グローバル英語学科で開講した「産官学連携講座Ⅰ、Ⅱ(春・秋)」において、学生のアイデアに対して近藤裕貴日進市長から「観光SDGs修了認定書」が授与されました。日進市との連携によるアクティブ・ラーニング形式の当講座。日進市職員、日進観光まちづくり協会、本学文学部教員らによる観光資源論や観光政策論を中心に「地域の持続可能な観光のあり方」を考察し、最終課題として日進市における観光まちづくりに関するアイデアを提出する課題解決型の授業です。3年生を中心とした6名の学生の提案が高く評価され、今回の認定書授与につながりました。市長を交えた意見交換会では学生たちが積極的に発言。今後、彼らのアイデアが日進市での地域創成に貢献することが期待されます。また、この話題は5月6日(土)の中日新聞にも掲載されました。

TOPICS

03



「世界水泳アーティスティックスイミングワールドカップ 2023」で吉田萌選手がメダル獲得

アーティスティックスイミングの吉田萌選手(本学職員)がワールドカップに出場。第1戦(3月16日〜18日、カナダ)では、チーム競技においてテクニカルとフリーで優勝、アクロバティックで銀メダルを獲得し、第2戦(5月5日〜7日、フランス)ではフリーで優勝、テクニカルで銀メダルの好成績を収めました。

【吉田選手コメント】

今大会では、金メダルと銀メダルをひとつずつ獲得できました。次は7月に福岡で開催される世界選手権に出場します。メダル獲得を目標に頑張ります！

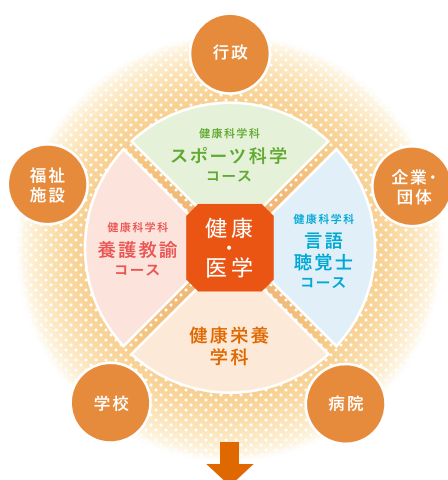
NEWS 健康科学部スタート!

人生100年時代を誰もが健やかに生きていくためには、健康をサポートするさまざまなプロが連携し、これからの健康づくりを共創していく必要があります。そうした社会のニーズに応えるため誕生した健康科学部。連携と共創をキーワードにした柔軟で多様な学びは、医療・福祉のみならず幅広い分野での活躍が期待されます。



健康をみんなで科学する学部

健康科学部の特徴は 「連携」・「共創」



多様な視点を養い、
多様な人と共創できる
スペシャリストへ。

健康・医学をベースに、希望する将来の進路に応じてスポーツ、教育、言語聴覚、栄養の専門性を深めます。さらに学科・コース、他大学、行政や団体、病院などと垣根を越えて健康をともに探求し、多様な人と共創できるスペシャリストを育てます。



健康科学科 スポーツ科学コース

スポーツ科学、健康科学の理論と実践の融合が特徴。運動プログラムやスポーツイベントなどの演習を通じて企画力やマネジメント能力も養い、運動指導者・トレーナー、保健体育教諭を目指します。



健康科学科 養護教諭コース

養護教諭に必要な専門科目とともに、医学・看護・スポーツ・心理などを幅広く習得。グループワークや実習・演習を充実させ、子どもと向き合い健やかな心身を支える力を養います。



健康科学科 言語聴覚士コース

言語聴覚療法を中心に医歯学・心理学・教育学など幅広く学び、歯学部附属病院や健康栄養学科と連携する実習を通じて、医療や福祉などの現場で即戦力として活躍できる専門性を養います。



健康栄養学科

食と栄養、調理に関する高い専門性と人体や疾患を学ぶ医学系の学修を重視した教育プログラムが特徴。総合大学ならではの幅広い活動を通して、あらゆる分野で活躍できる管理栄養士を養成します。

POINT / 学びの特色

POINT ①

多彩な実習・演習で、
実践力、チーム力を磨く!

健康科学部は、知識を生きたものにする実習や演習が豊富。多様な人とつながって課題に取り組むことで、実践的な知識や技術だけではなくコミュニケーション能力やチームで協働・共創する力も身につきます。

POINT ②

専門性×連携した学びで、
+αの強みが身につく!

スペシャリストになるための専門性とともに、学科・コースを越えて他の領域を学ぶことができ、自分ならではの+αの強みを養えます。またスポーツ・健康・医療など幅広い知識を得ることで将来の活躍の場が広がります。

POINT ③

最前線を知る!
現場のリアルを聞く!

医師、歯科医師、健康運動指導士、養護教諭、言語聴覚士、管理栄養士など、健康科学部には多様な分野の専門家が揃っています。最前線の研究や、豊富な実務経験に基づく現場のリアルに触れることで学ぶ意欲が湧いてきます。

POINT ④

先進&充実の施設で
学びを深める!

健康科学部の学びの舞台となる広大な日進キャンパスは、あらゆる競技に挑戦できる多様なスポーツ施設や最先端の機器、本格的な実習室・実験室などを完備。充実した環境の中で健康を科学する先進の学びを深めることができます。